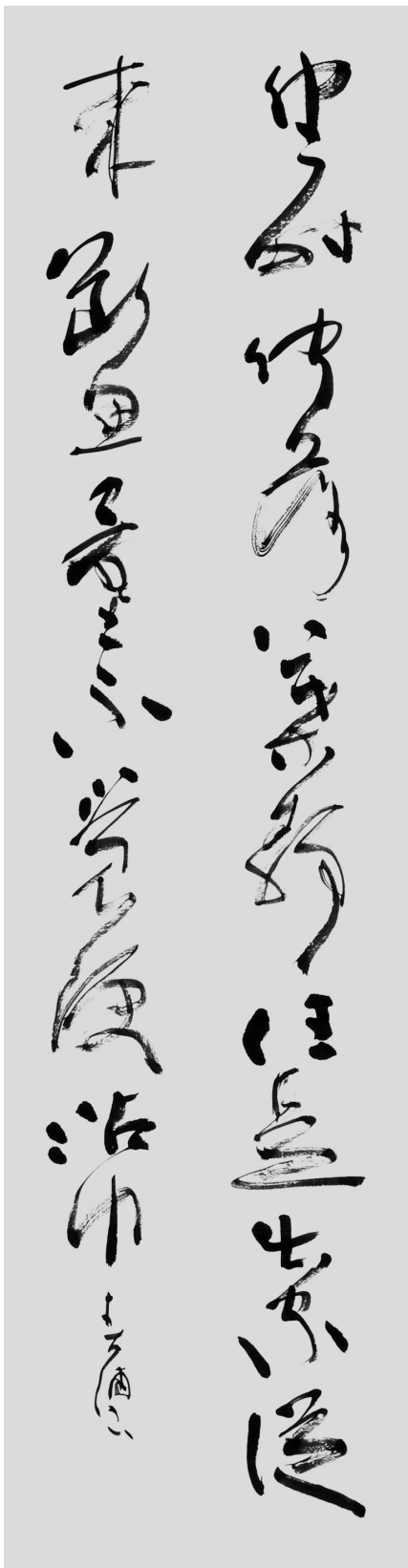


2月25日正午必着

明石春浦先生書



坐時聞落葉
從來斷思量

靜住是出家
不覺淚沾巾 (良寛)

坐つて落葉の音を聞き 静かに住まう 出家の身。
思量も断つて 過したが 覚えず涙に 袖ぬらす。

明石幸子書



芳春已共煙花盡

孟夏俄驚草木長 (王守仁)

よき春も最早や霞や花と共にすぎゆき、初夏の候となつて今更の如く草木の茂るのに驚く。



人の世にたのしみ多し 然れども 酒なしにして なにのたのしみ (若山牧水)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

新陽改故陰 (謝靈運)

新陽故陰を改む。

冬が去って春が来る。

芳草春時深閉門 (孔傳鐸)

芳草春時深く門を閉ざし、
月明自から梅花を伴って宿る。

香草萌える春の日に、深く門をとざしてくらし、
月光明らかな夜はひとり梅花と共に寝るのである。

道院 (王周)

道院 王周
白日人稀到 簾垂道院深
雨苔生古壁 雪鶴聚寒林

白日人稀到 簾垂道院深
雨苔生古壁 雪鶴聚寒林
忘慮憑三樂 消閑信五禽
誰知是官府 煙縷滿爐沉

白日 人 到ること稀に 簾垂れて 道院深し
雨苔 古壁に生じ 雪鶴 寒林に聚る
慮を忘るるは 三樂に憑り 閑を消するは五禽に信す
誰か知らん 是れ官府なるを 煙縷 満炉の沈

若菜つむ春べになれば 故郷の垣根わたりは 目にぞ見えける (木下幸文)

半紙部規定課題A

2月25日正午必着

客者
薦蘋
行

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月25日正午必着

行書

昔賢懐一飯
古墓樵人識
前朝楚水流
渚蘋行客薦
山木杜鵑愁
春草年年綠
王孫舊此游

隸書

昔賢懷一飯
古墓樵人識
前朝楚水流
渚蘋行客薦
山木杜鵑愁
春草年年綠
王孫舊此游

明石春浦先生書

草書

昔賢懐一飯
古墓樵人識
前朝楚水流
渚蘋行客薦
山木杜鵑愁
春草年年綠
王孫舊此游

行草書

昔賢懐一飯
古墓樵人識
前朝楚水流
渚蘋行客薦
山木杜鵑愁
春草年年綠
王孫舊此游

いにしえの偉人が一飯の恩義に感じ入ったという そのことはもはや千年のむかし
年古りた墓は、樵人たちが知っているだけ かの時のままにここ楚の地の水は流れる
行きずりの旅人が水際の渚草を摘んで供え 杜鵑は山中の樹木に悲しく啼く
春の草は年ごとに緑に茂る かの貴公子がかつて遊んだこの地に

漂母墓

劉長卿

昔賢懐一飯

茲事已千秋

古墓樵人識

前朝楚水流

渚蘋行客薦

山木杜鵑愁

春草年年綠

王孫舊此游

漂母の墓

劉長卿

昔賢一飯を懐く

茲の事 已に千秋

古墓 樵人識り

前朝 楚水流る

渚蘋 行客薦め

山木 杜鵑愁う

春草 年年緑なり

王孫 旧此に遊ぶ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

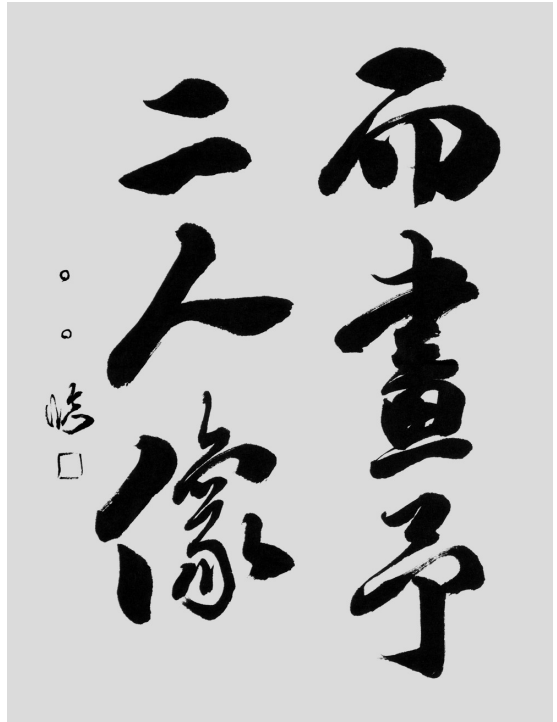
予既書黃庭內景以贈葆光道師而
龍眠居士復為作經相共前而畫予二
人象其後筆勢儻妙遂為希世之寶

倦翁

予既書黃庭內景。以贈葆光道師。而／龍眠居士復為作經相其前。而畫予二／人像其後。筆勢儻妙。遂為希世之寶。倦翁。



筆勢偶妙。



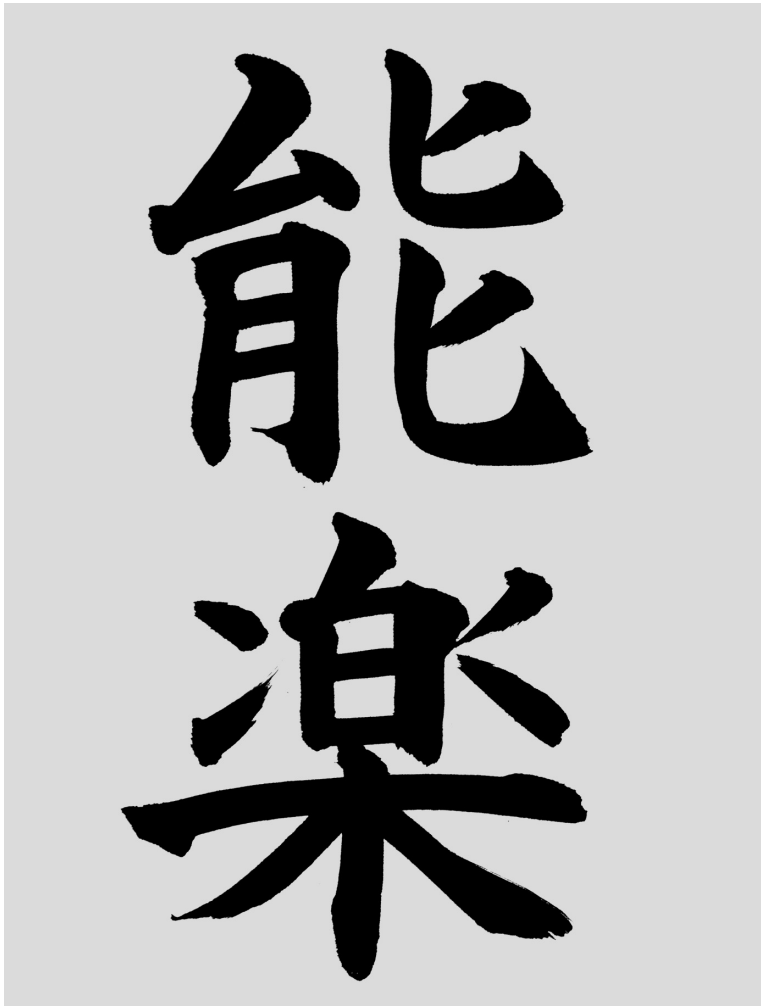
而畫予二人像（其後。）

清包世臣・行書立幅

包世臣（一七七五）安徽江甯の人、字は誠伯または慎伯、倦翁と号し、慎斎また小倦遊閣外史ともいい、生地に因んで安吳先生ともいわれた。嘉慶一三年（一八〇八）の挙人。鄧完白に師事して金石書法を研鑽し、秦漢をきわめて碑派の雄となり、書・篆刻ともに一世に推重され、また詩文もよくしたといわれている。

逆入平出の用筆法を提唱し、書の理想とする境地を示すのに気満の説を掲げ、その実現にはこの逆入平出法でなければならぬとしばしば説いていたとされる。

この書はこの法を見事に実現させているといわれるが、この際、逆入平出法の極意を探求するべきか…。（春濤）



のう
能

がく
楽

中学一年

雨宮春聲先生書



すみ
墨

え
絵

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



どう

とく

小学五年

榎戸春龍先生書



えい

よう

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



リッ
立

しゅん
春

小学三年

藤田幸春先生書



こく
国

おう
王

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

う め 小学一年・幼年



森戸春濤書

やま かわ 山 川 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

増して遠ざかって行く	汽車はしだいに速力を
------------	------------

小学五年

努力は成功をみちびく	血のにじむような苦心と
------------	-------------

小学六年

ものはすべて善である	人生が我々にもたらす
------------	------------

中学

寒さが続いています	二月にスキー毎日さびしい
-----------	--------------

一般(級位)

いにしへの奈良の都の八重櫻 けふ九重にほひぬるかな (伊勢大輔)

いかに人の心をよむか	梅の香りにほひぬるかな
------------	-------------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可) また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ま	お
め	と
ま	う
き	さ
を	ん
し	と
た	

幼年

一	川
ま	に
い	
	木
お	の
ち	は
た	が

小学一年

め	白
を	い
	お
見	馬
ま	の
し	
た	ゆ

小学二年

か	小
ら	鳥
	の
き	声
こ	が
え	
る	森

小学三年

話	全
を	国
た	に
く	伝
さ	わ
ん	る
読	む
ん	か
だ	し

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

うめかゝに
たぐへて
きけは
鶯の
こゑな
つかしき
春のやま
里

うめかゝに
たぐへて
きけは
鶯の
こゑな
つかしき
春のやま
里

うめかゝに
たぐへて
きけは
鶯の
こゑな
つかしき
春のやま
里
(西行)

松永翠舟先生書